

理事会報告

2023年度第8回(2024年第6回)理事会議事録

日時：2024年8月24日(土) 16:30～18:45

場所：神戸ポートピアホテル南館地下1階「ルビー」

現地出席者：

宇野 隆(理事長)、溝脇尚志(専務理事)、石川 仁、
内田伸恵、岡嶋 馨、小川和彦、古平 毅、櫻井英幸、
佐々木良平、澁谷景子、中村和正(以上理事)、塩山善
之、生島仁史(監事)、

角田怜子、鈴木弘美、山内蓉子(以上事務局)

WEB出席者：

有賀久哲、井垣 浩、大西 洋、高橋健夫(以上理事)

欠席：青山英史、大野達也、村上祐司(理事)

(敬称略)

審議事項

1. 前回議事録承認(溝脇専務理事)

前回(2024/7/26)理事会議事録案と、その後の進捗状況が確認され、承認がなされた。

2. 会員の入会他(溝脇専務理事)

1) 入会申請(2024年7月18日～8月15日)：

計7名[内訳 正会員5名、准会員2名]であることが報告され、承認された。

2) 2024年8月15日現在の会員登録状況について下記のとおり説明がなされた。

■ 会員総数：4,423名

[内訳 正会員2,331名、准会員1,988名、名誉会員56名、賛助会員39社、国際賛助会員9名]

■ 退会者：5名[正会員3名、准会員2名]

賛助会員(団体)退会申請があった1社について、継続を再依頼する旨確認された。

■ 正会員内訳：医師2,122名、歯科医師46名、医師以外163名(医師比率91.03%)

■ 男女比率：正会員[男性1,857名、女性474名]、 准会員[男性1,515名、女性473名]

■ 専門医数：1,440名[男性1,166名、女性274名]

■ 会費納入率：正会員94.64%、准会員91.00%

正会員、准会員の8月15日現在の2年分会費未納者リストが提示され、8月末までに会費納入がない場合は定款10条の定めにより退会となる旨確認された。

3. 2024年度新規事業各予算案／2024年度予算案 変更案(溝脇専務理事)

- 次年度(2024年9月～2025年8月)新規事業予算案

について、前回理事会審議以降、申請があった事業について、財務・総務委員会での事前審査結果(①)、及び各担当役員より事業の説明がなされ、以下2件を次年度新規事業として進めることが承認された。

① 指定施設での小線源治療研修、小線源治療技術指導医派遣等の教育支援事業(小線源治療部会)

尚、当会としての免責事項等について、顧問弁護士に相談して進める旨確認された。

② 「WEB(学会ホームページ)目安箱」の設置(がん放射線治療推進委員会)

ダイバーシティ推進のための意見を会員より収集、検討し、理事会提言する事業(予算費用申請なし)

■ RI内用療法症例登録事業への特定用途寄附金申し入れと予算変更案

昨年度寄附頂いた賛助会社より、RI事業について2024年度300万円の追加の寄付金申し込みがある旨報告され、次年度予算にて受入れが承認された。また前回7/26理事会承認のデータベース委員会の予算のうち、研究事務局は症例登録(JROD)事務局とRI症例登録事務局を並行して進めること、RI内用療法症例登録事業費を増額した予算案が示され承認された。

4. 次年度(2024年度)事業計画まとめ・最終予算案

(溝脇専務理事)

前回7/26理事会にて提案・承認された各事業予算と、前議題で承認された2024年度追加・変更予算を合わせた最終の予算(経常増減差額-15,680,000円)について、承認がなされた。また各理事より提案された事項をまとめた2024年度の事業計画(全体案)が提示され、8月末までに内閣府へ申請する旨承認がなされた。

5. 特定資金「費用対効果」変更案

(宇野理事長／大西理事)

2018年度放射線治療費用対効果分析費として、500万円を特定費用準備資金として積立てし、その後延長承認を得て、2022～2024年度までに500万円を支出する予定であったが、論文の精査に時間がかかっていること、五十嵐中先生への委託契約による計3分野の分析について、膀胱癌と肺癌(又は脊椎転移)の2分野に変更することになり、あと2年延長し2025年度までに終了する計画案が提示された。著名な統計学者への協力を得て進める重要な研究であるため、計画を延長し実施する提案が承認された。尚、大西担当理事より、次期健保担当理事又は総務担当理事が引き継ぐ旨が確認された。

6. 2026年診療報酬改定に向けた医療技術評価提案について (大西理事)

2026年(令和8年)診療報酬改定に向けた医療技術評価提案について、IMRTの施設基準の見直し・即時適応放射線治療・AIを利用した放射線治療の管理加算等を含む計20提案が示された。今後は更に検討して、1/3程度に重点化していくこと、追加の提案がある場合には担当理事へ直接連絡をする旨確認された。

7. JRR誌優秀論文賞の内規の改訂について

(佐々木理事/大野)

編集委員会より、2023年より新設「JRR誌優秀論文賞」の内規について、目的条項の文言表現や、第2条「対象」に関する記載(臨床/物理各1編選考→原則、各分野1編)等の改訂が提案され、規約委員会にて文言等を修正案が示され承認された。

8. JRR誌優秀論文賞の推薦について (佐々木理事)

2024年JRR誌優秀論文賞について、本年は臨床1題、物理5題の応募があり、編集委員会より受賞者として、以下物理2題が推薦され、承認がなされた。

- 平島英明会員(京都大学)

“Dosimetric verification of four dose calculation algorithms for spine stereotactic body radiotherapy”

- 角谷倫之会員(東北大学)

“Evaluation of deep learning-based deliverable VMAT plan generated by prototype software for automated planning for prostate cancer patients”

9. 「放射線性顎骨壊死診療ガイドライン」SR委員追加について (井垣理事)

2024/3/15理事会にて承認された「放射線性顎骨壊死診療ガイドライン」作成事業について、作成WG委員長推薦の以下SR委員追加について承認された。

山村佳子先生(順天堂大学 歯科口腔外科)

ガイドラインの作成状況については一部内容の修正をしながら予定通り進めていることが報告された。

10. 第三者出力線量評価認定制度・申請施設の認定について (澁谷理事)

2024/7/17締切の第3回(2024年)第三者出力線量評価認定制度認定施設申請について、18施設を受付、当作業部会による7/26認定審査会議の結果、17施設はすべての認定要件を満たすことが報告され、承認がなされた。なお、第三者出力の測定結果が許容範囲外であったため認定不可となった1施設へのサポートの方法については、作業部会で検討する旨確認された。

11. 第61回生物部会・第52回放射線による制癌シンポジウムの収支報告と補正予算 (石川担当理事)

「第61回生物部会・第52回放射線による制癌シンポジウム」(2024/5/17-5/18群馬会館/高橋 昭久当番世話人)の会計報告がなされ、当初の見込みより当日の運営人件費・会議費他費用が増えたため、費用の一部補填の依頼が説明され、承認がなされた。なお、仮払金については収入ではなく事業開始時の預け金であるため、次回以降、現状の収支決算書のフォーマットを改訂する旨が確認された。

12. 厚労科研大西班：放射線治療計画業務補助者の教育/研修体制等の構築 (大野理事/澁谷理事)

放射線治療品質管理機構とりまとめにより設置された「放射線治療計画補助者会議コンテンツ作業部会」より、放射線治療計画業務補助者育成のための医学・放射線腫瘍学の知識習得の具体的なコンテンツとして、当会教育委員会編集「やさしくわかる放射線治療学」を指定教科書とし、補足として、正常臓器輪郭描画についてのe-learning作成のコンテンツ作業部会委員として、JASTRO教育委員会より推薦の7名の専門委員を放射線治療品質管理機構へ推挙する旨承認された。

宇藤 恵会員(京都大学)

安田耕一会員(北海道大学)

小宮山貴史会員(山梨大学)

川村麻里子会員(名古屋大学)

梅澤 玲会員(東北大学)

室伏景子会員(がん・感染症センター都立駒込病院)

安藤 謙会員(群馬大学)

13. 放射線治療専門医試験結果報告/放射線治療専門医資格更新・辞退について (古平理事)

- 放射線治療専門医資格更新者の追加承認・資格返上者
更新猶予中の2名について更新要件の充足を確認したことが報告され、承認された。資格返上申請のあった2名の専門医資格喪失が承認された。また猶予期間中の1名について説明がなされた。
- 放射線治療専門医資格更新申請の審査結果について
2024年の更新申請における審査内容について、対象者202名のうち、更新者182名、猶予者13名、資格辞退7名であったことが説明され、承認された。
- 放射線治療専門医認定試験の結果について
第1回(2024年)専門医機構認定放射線治療専門医試験結果の概要について、応募者48名、受験者47名のうち、合格者45名、不合格者2名となり、合格率[合格者/受験者は95.7%(合格者/申請者 欠席

者含むは93.8%)であったこと等が説明され、承認がなされた。

その他審議事項

14. 前立腺癌患者に対するPSMAを標的とした核医学診断・市長の早期国内導入及びその環境整備に関する要望書(溝脇専務理事)

厚労大臣宛て「前立腺癌患者に対するPSMAを標的とした核医学診断・治療の早期国内導入及びその環境整備に関する要望書(案)」が提示され、日本核医学会、及び日本泌尿器科学会理事長より、共同で要望書を発信する旨依頼があり、承認された。なおJRSにも同様の依頼があった旨報告された。

15. 放射線治療品質機構よりの依頼：入会(社員)と定款(溝脇専務理事)

放射線治療品質機構より、法人化に伴う定款案と、社員としての参加協力(当会は同機構の構成6団体の一つ)について回答依頼があり、定款案については顧問弁護士より特に問題となる記載はなかったこと、構成6団体については入会金および年会費ともに無料とする方向であることが説明され、いずれも賛成で回答する旨承認された。

報告事項

1. 理事長・専務理事職務状況報告

(宇野理事長/溝脇専務理事)

現在までの業務状況・活動報告がなされた。

2. 社員総会準備：その他議題「代議員提案事項」実施

(宇野理事長/溝脇専務理事)

例年総会で実施の代議員からの意見提案・討論について、例年通り意見募集を依頼し、総会にて実施する旨説明された。

3. 渉外関連学会報告：共催依頼「Mo-FESTA CANCER FORUM 2024」について

(佐々木理事(宇野理事長/溝脇専務理事))

前立腺癌患者・家族の会：NPO法人腺友倶楽部より、2024年11月24日開催予定の「Mo-FESTA CANCER FORUM 2024」への共催依頼があった旨説明された。費用負担はなく、内規に基づき、承諾にて返答をする旨報告された。

4. 広報委員会報告：特定資金PR事業「市民公開講座」アンケート結果他(岡嶋理事)

2024/7/13東京(コモレ四谷)にて開催された「市民

公開講座」について8/15より動画配信を開始した旨報告された。また当日の参加者へのアンケート結果が示され、「今回の講演で認識が大きく変わったこと」について「治療方針を医療チームと本人とが相談すること」が最も多かったこと、また講演に対し「大変満足」と回答した参加者が全体の6割を占めている等が報告された。

5. 教育委員会報告：ESTRO school収支報告

(内田理事)

2024 ESTROschool Multidisciplinary Management of Lung Cancer [2024/6/21～2024/6/23千里ライフ・サイエンスセンター/松尾幸憲世話人(近畿大学)]の開催報告[参加者：89名(招待含む)]および収支決算書による収支報告がなされた。[学会への返金あり]

6. 教育・生物部会報告：2026年生物セミナー日程案について(小川理事/内田理事/石川理事)

2026年第16回放射性生物学セミナーについて、当番世話人：小川理事より2026年3月21日に沖縄県市町村自治会館でハイブリット開催予定である旨報告された。

7. 施設認定委員会報告：2024年(第9回)認定施設申請状況(小川理事)

2024/5/17～7/17まで申請を受け付けた2024年(第9回)認定施設申請について、更新対象49施設[内訳：更新申請43、猶予申請4、辞退申請1、未提出(確認中)1]、新規申請10施設であった旨報告された。今後は12月末までの書類審査を経て、2025/1理事会にて審議予定である旨説明された。

8. がん放射線治療推進委員会報告：第1回脊椎SBRTハンズオンセミナー会計報告(石川理事)

第1回脊椎SBRTハンズオンセミナー[2024/6/2エレクトラ本社/金田朋也世話人(国立がん研究センター)・平田岳郎世話人(大阪大)]の開催報告[参加者20名10施設]および収支決算書による収支報告がなされた。[学会への返金あり]

9. ガイドライン委員会報告：『放射線治療計画ガイドライン2024』価格と部数/Global Harmonization Group consensus guidelines (Green J掲載)の和訳版のJASTRO HP掲載について(井垣理事)

■ 本年11月発刊予定「放射線治療計画ガイドライン2024」価格について、ページ数増加や紙・送料の値上げにより税込5,940円となること、1刷りは5,000

部印刷する予定である旨報告された。

- 2023・2024年度研究課題「放射線治療情報の相互利活用に向けた輪郭名称の命名標準化」(研究代表者：茨城県立中央病院 篠田和哉会員)における輪郭名称標準化活動の一環として、Green J掲載の“Global Harmonization Group consensus guidelines”の和訳について、商用利用にあたらなため出版元・第一著者からHPへの掲載許可についても許可を得たとの報告がなされ、当会ホームページ>参考ガイドラインページへ掲載する旨確認された。

10. QA委員会報告：放射線治療装置に関する品質保証リスト作成について(澁谷理事)

放射線治療装置の品質保証を評価し、安全かつ効果的な医療の提供のために国内外で利用されるガイドラインを集約した「品質保証リスト」の作成を進めている旨説明され、当会が推奨するリストとして学会ホームページ等で公開できるようリストだけでなく作成背景等も加え、最終版を次回理事会以降審議する旨確認された。

11. 緩和的放射線治療委員会報告：好事例集／緩和的放射線治療診療ガイドラインCQ案(高橋理事)

- 緩和的放射線治療好事例集について、最終案が提示され、完成後はデータにて各施設等への配布を進めていく旨確認された。
- 緩和的放射線治療診療ガイドラインについて、前回2024/7/26理事会にて報告された10のCQ案が提示され、斎藤哲雄WG長を中心に文献検索を予定している旨報告された。

その他報告事項

12. 第37回JASTRO学術大会時の各委員会等の開催(名誉会員の会他)について(宇野理事長)

2024/11/21～11/23開催の第37回JASTRO学術大会において名誉会員の会や賛助会員の集いの予定が報告された。また学術大会中に開催が必要な各種委員会については理事会後1週間をめぐりに事務局へ連絡する旨確認された。